

編集後記

▼2年ぶりにサケの飯ずしを漬けました。もちろん、私が漬ける方法を知っているはずもなく、今回もレシピを読みながらの実践。お正月にはできあがる予定です。時々樽を開けてはでき具合を確認。なんだかおいしくできあがりそう。お正月が楽しみです。(内柴)

▼2008年を振り返ってみると、公私ともに充実した1年でした。広報という仕事を通じて多くの町民の皆さんとの出会いがあり、『厚岸』というまちがどんどん身近になっていきます。これからも多くの人に読んでもらえる広報誌づくりに取り組んでいきます。▼元旦は末広海岸での初日の出イベント。前回は曇り空で見ることができませんでしたでしたが、今回は見られるでしょうか？(大門)

▼相変わらず忙しい年でした。土日の取材も多かったが、広報誌作成以外の業務がキツカッタ。正直、満足のいくような広報誌ができなかったのも事実。▼モオ〜っと頑張って、モオ〜っと読んでもらえ、モオ〜っと役に立つ広報誌めざし、努力します。▼2009年は丑年だけにギュウっと中身の詰まった年にしたいものです。▼この時期は飲む機会が多くなります。飲酒運転は禁止ですよ！(田崎)

ひとのうごき

- 人口/11,172人 (-3)
男/ 5,325人 (-2)
女/ 5,847人 (-1)
- 世帯/4,449世帯 (+9)
- 出生/ 6人 ●転入/21人
- 死亡/16人 ●転出/14人
- 外国人/97人 91世帯

11月30日現在()内は前月比

■発行/厚岸町
■編集/総務課広報情報係
〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138
URL <http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp>
携帯電話 <http://203.180.48.2>
E-mail akkeshi@pop2.marimo.or.jp

間伐で未来につなぐ北の森
広報あっしは、環境保護のため
道産間伐材と古紙を配合した用紙
道産間伐材を使用しています。

生きる力

(今月のタイトルは真龍小学校6年の小川大智くんが書きました)

町内小・中学校をリレーで紹介

学習指導要領の理念である『生きる力』
この『生きる力』をはぐくむため
学校ではさまざまな取り組みをおこなっています

■■■ 第4回 厚岸町立真龍小学校 ■■■

新しい学び舎と共に

平成20年2月17日に、落成を祝う会が開催されました。

まず、この新しくできた真龍小学校の校舎について、紹介します。

学校の壁は、コンクリートがむき出しになっていて、ところどころに穴があります。その穴は、500円玉がぴったり入るほどの大きさです。

また、オープンスペースとよばれる教室には戸がありません。誰が来たかすぐわかります。天井の防音シートに負けないぐらい、いろいろなクラスの音が響き、にぎやかです。

2階と3階をつなぐ階段の間には『DEN』という場所があります。このスペースは、大きな窓があつて、光が降りそそいでいます。そこには、みんなが話をしたり、休んだりするためのベンチが置いてあります。とても目が当たって落ち着くスペースなので、すぐく気に入って、いつも友達同士で話をしています。

多目的ホールというところには、厚岸町を空から見た写真が床に貼られています。自分の家や友達の家を探せたりすると楽しいです。厚岸町の建物を上から見ると、役場と海事記念館は船、道の駅はカキ、情報館はクジラの形をしていることがよくわかります。

畑はちよつと変わった場所にあります。なんと2階にあるのです。家庭科室のとなりにはランチルームというところがあつて、そこにあるドアを開けると畑です。畑には外靴で入ります。畑にはジャガイモ、ブロッコリーなどが植えられていて、各学年で世話をしています。

また、4月には新しい校長先生が来られました。校長先生のいいところは、毎朝玄関に立つてぼく達にあいさつをしてくれたり、毎日授業を見に来てくれるところです。そんな校長先生にインタビューをしました。毎日ぼく達の勉強を見に来てどう思うかと聞くと、「しっか

りよくがんばっているのいいと思うが、姿勢が悪いなあ」と答えてくれました。毎日玄関であいさつをしていてどう思うかには「自分達からあいさつをしてくれるし、いろいろな話をしてくれるのでうれしいよ!」と。こんなとても優しい校長先生がいて、毎日が明るい学校がぼく達は大好きです。これからも新しい校舎と真龍小学校の伝統を大事にしていきたいです。

(晃希、駿太、光大、太基、彩帆)



学習発表会/『全校児童でパーム・パームを合唱しました』